

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
老人憩いの家 管理事業	1	一人暮らしの独居老人には自由に話せる老人憩いの家は必要である。利用率の低い地区については利用率を向上させる施策が必要。建物については老朽化が進んでおり、点検と補修が必要と感じます。	3	1 利用率の向上につきましては、地区の方と意見を交換しながら、市の介護予防事業を行うなど利用率の向上に努めていきたい。また、施設の修繕につきましては、地元から要望があった修繕要望の中から予算内において優先順位をつけて、毎年修繕しています。
	2	「いきいきサービス事業」の見直しと一体的に取り組み、各地域にある集会所、会館も一緒に考えてはどうか。 (No.4の意見も参照してください。)		2 「いきいきサービス事業」の見直しが、平成27年度から始まる新しい介護保険事業計画の中で検討される予定ですので、その中で「老人憩いの家」の利用も含めた形で検討します。
	3	全国的にみて、老人憩いの家をいまだ市が管理しているところがどれほど残っているかの調査されたか？ 憩いの家があるから使っているのか、他に代替施設がなく必要とされ使われているのか？ 廃止の方針を打ち出した上で、施設不足の地区には、地区の施設として目的を変え、自由に使っていたくというのがよい。 また、区の集会所等は区で管理されている。憩いの家のみ市が委託して管理してもらうことはなく、自主管理が適当。		3 全国的な調査はしていませんが、近隣市町については、聞き取りにより調べたところ豊明市のような小規模老人憩いの家は、直営のところもありますが、老人クラブや公益財団法人に管理委託しているところが多いようです。 また、利用状況については、地区により大きな差があるため、各地区の関係者とよく協議を重ね、必要性の有無、管理形態等検討していきたいと考えています。 (回答：高齢者福祉課)

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

＜平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)＞

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
いきいきサービス事業	4	<p>送迎を含めサービスを提供しているが、老人福祉センターのみでは利用者数が限られる。「老人憩いの家管理事業」の見直しと一体的に取り組み各地域にある集会所、会館も一緒に考えてはどうか。</p> <p>民営化も良いと思いますが、元気な市民を対象にした福祉講座、ボランティア講座等で世話人を育成し、地域ボランティアで住民同士の関わり合い、助け合いでの取り組みも大切と考えます。</p> <p>この取り組みでは引退した介護士、看護師にもう一度参加していただき、現役の皆さんと地域巡回で地元の皆さんの健康に応援をし、見守って欲しいと思います。</p>	2	<p>4 ご意見をいただいたとおり、老人憩いの家・公民館等、市民にとって身近な施設を活用し研究しつつ、地域ボランティアと参加者が協力して自助共助による介護予防を地域で展開できるような体制作りを目指しています。</p> <p>また、現役を引退した方の地域ボランティア等支援者の育成についても研究していきます。</p> <p>5 介護予防事業対象者は増加すると予想され、それに対応するため受け皿と効率的・効果的な実施が必要です。国の制度改革の動きを見つつ、第6期介護保険事業に計画策定にあわせ、いきいきサービスを含めた介護予防事業全体の充実に努めます。</p> <p>(回答：高齢者福祉課)</p>
	5	<p>他市において同様のサービスが実施されているわけでない。費用対効果を考えれば、すでに結論は出ている。</p> <p>市内のNPO等が類似のサービスを提供していることから、高コストの直営は見直し、即民間委託に移行すべき。</p> <p>いきいきサービスのみを考えず、老人福祉センター事業全体の見直しを検討されたい。</p> <p>また、次期介護保険制度の大規模な変更(要支援を介護保険から外し、自治体の事業とすること)を考えれば、委託先NPOを支援・育成することが肝要。</p>		

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
公園施設 維持管理事業	6	<p>三崎公園、大蔵池公園、勅使公園、大原公園などの大規模公園と区別する必要あり。住宅街の都市公園は誰が、どのくらい使用しているか？</p> <p>子どもが遊ぶ姿を見る公園は少なく、子育て支援センター、児童館や放課後子ども教室が取って代わっているのではないか。</p> <p>高齢者が求める公園の作りになってない。地域の人が使わない公園を地域住民に管理してもらえないとは思えない。</p> <p>災害時の待機避難場所、夏祭り会場用、ゴミステーション、まちの緑地帯、・・・公園のあり方から見直すべき。</p>	1	<p>利用者数の統計調査は実施していません。</p> <p>屋外で活動する子供は少なくなっています。</p> <p>子供からお年寄りまでの幅広い年齢層の活動や憩いの場として活用されていますが、幼児や高齢者が比較的多く感じられます。</p> <p>また、他区の公園(街区公園)は30年以上経過した物が多く遊具や休憩施設等改修工事を実施しています。この改修に当っては地区の皆様にご意見をお伺いして工事を行っています。</p> <p>(回答:都市計画課)</p>

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
延長保育事業、 放課後児童 クラブ事業	7 8	<p>両事業は、若いお母さんたちが長く豊明市に住みたいと思 うような豊明市のビジョンが絶対必要です。</p> <p>保育士、指導員の確保は難しく、経費についても大きな負 担になるが、教員OBや保育士OBに積極的に登録していた だき、子供を対象とした教育だけではなく、大人(お母さん)達 も巻き込んだ取り組みをして欲しいと考えます。</p>	1	<p>市としましては、子育て世代全般をバックアップすることで「子育てをする若年 層(低所得層)にも住みたいと思えるまちづくり」というビジョンを持っています。</p> <p>また、子育て支援全般をバックアップする仕組みとして、ご提案のようなボラ ンティアを活用する取り組みも検討してまいります。</p> <p>(回答:児童福祉課)</p>

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
農村環境改善センター管理事業	9	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の意欲のある人は、農家出身には少ない。 ・農地の多くは閉鎖的な風土の地域にあり、これまでも不耕作地の活用が地域の中で提案されても却下され、多くは実現しなかったそうだった。地域において、他人に農地を貸す人は少ないと思われる ・農業の担い手育成は、必ずしも農村環境改善センターで行う必要はない。 ・農業改善センター利用を望むNPOはない。 ・耐震化に莫大な費用をかけ、維持費をかける価値はない。 以上の点から、農業改善センターは取り壊し、売却する、或いはテニスコート等、維持費の少ない活用を。	4	<p>多くの意見をいただきましてありがとうございました。一括して回答いたします。</p> <p>農村環境改善センターは、昭和48年に農林水産省が発足させた農村総合整備モデル事業により①農業技術の改善に関すること ②農業技術及び知識の向上に関すること ③地域住民の健康管理に関することを目的として、昭和52年に本館施設を、また翌年度にプール、テニスコートの貸出業務を開設、管理運営してまいりました。</p> <p>先に公表しました見直し方針(案)では、平成26年度までは現行どおり運営とし、平成27年度で事業廃止としておりましたが、事業仕分けでの議論にもありましており、現在の状況は、開設当初の目的から乖離してきています。</p> <p>また今後、施設の耐震化やテニスコートの整備には多額の費用が掛かることから検討の結果、平成26年度中に農村環境改善センター事業を廃止し、施設(テニスコートも含む)を閉鎖します。</p> <p>市では、平成26年度より所有する施設全体の適正化(維持管理費や更新費用)を検討し、将来の施設の在り方を明確にしていきます。この中で、農村環境改善センター(テニスコート、プールを含む)についても在り方を検討し、他目的での利用や施設の解体などの対応を具体的にしていきます。</p> <p>農業に対するビジョンとしては、都市近郊という地の利を活かした農業経営を支援する施策として、あいち尾東農業協同組合と連携した農業塾等の事業展開を考えております。</p> <p>豊明市においても、農業従事者の高齢化や不在村地主の増加、また後継者不足による「農業離れ」が拡大しており、次表のとおり耕作面積、就業人口は減少しています。この様に農業に対するニーズなどは減少していますが、将来に対して重要な施策であると考えます。</p> <p>また、農地バンクにおいては、H25登録件数が59筆(5.4ha)、その内18筆(1.2ha)の実績があり、新規就業者への受け入れ可能な状況です。</p> <p>今回取り組むものは、豊明市の農業政策の第一歩として、官民共同して新たな担い手の育成・支援を実施していこうとするもので、まず初期段階として担い手づくりの取組みを実施、次の段階では農業経営者としての内容についても検討していきます。</p>
	10	農村環境改善センターは閉鎖・廃止すべき。農業学校は改善センターでなくても可能。 また、NPO団体から拠点の必要性は以前より要望されているが、当該センターを希望する声はない。 稼働率が低い理由を考えれば、どう使おうか、誰に使ってもらおうか、で頭をひねること自体ナンセンス。目的を達した施設に多額のお金をかけて改修し、無理やり使おうとせず、閉鎖するのが一番。		
	11	市民判定人の判断通り、不要または民営化とする。 公共施設の統廃合が将来的に必須となる豊明市財政状況からして、折角市民判定が出たのだから決断すべきだと思います。 今農業は、農業経営者としての六次化・IT化(オランダ農業)を目指す状況なのに方向が違うのではないのでしょうか。		

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

＜平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)＞

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応																																																															
農村環境改善センター管理事業	12	<p>あたりまえだが不要・民営化から考えるべき。市民判定は不要・民営化である。これに対する考察は全くなく、何のための検討シートなのか。事業仕分けは何だったのか。</p> <p>議論の要点として挙げられている項目に対する回答も全くない。26年度は拡大で27年度は不要、民営化とはどういうことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の豊明市の農業の状況をどのくらい把握しているのか。人口、年齢、専業・兼業、産業としての出荷量、その目標、将来のビジョンは。 ・JAでも断念した農学校や塾の構想はどこから出るのか。その見込みの根拠は。時間稼ぎとしか思えない。 ・プール、テニスコートを農園にするとはどういうことか。プールは駐車場にするなど借地は返上。農園は遊休不耕作地がいくらでもある。 ・料理講演を行うとあるが、半世紀前の設備でできる現代料理があるのか。 ・NPOの拠点とあるが具体策は。現在の商工会館でも車で行く人ばかりではない。改善センターでは参加できなくなる人が増え、市民活動は停滞する。市民活動の拠点は勤労会館の利用を模索するべき。 <p>見直し方針では農業を始めたい若者が多数存在するかの如く描かれているが、その実態はあるのか。豊明市の農業の在り方という根幹がないまま、改善センターを確保したいという思いのみの検討、対応策だ。</p>		<p>農林水産統計による</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">○耕地面積</th> <th>H19</th> <th>H24</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">耕地面積</td> <td style="text-align: center;">田</td> <td style="text-align: center;">378</td> <td style="text-align: center;">364</td> <td style="text-align: center;">-14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">畑</td> <td style="text-align: center;">182</td> <td style="text-align: center;">163</td> <td style="text-align: center;">-19</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">560</td> <td style="text-align: center;">527</td> <td style="text-align: center;">-33</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">○経営体数</th> <th>H19</th> <th>H24</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">(世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">農業経営体</td> <td style="text-align: center;">420</td> <td style="text-align: center;">383</td> <td style="text-align: center;">-37</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">○年齢別農業就業人口</th> <th>H19</th> <th>H24</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">30歳未満</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">-37</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">30～60歳</td> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">63</td> <td style="text-align: center;">-57</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">60歳以上</td> <td style="text-align: center;">552</td> <td style="text-align: center;">308</td> <td style="text-align: center;">-244</td> </tr> </tbody> </table> <p>(回答:産業振興課)</p>	○耕地面積		H19	H24	増減			(ha)			耕地面積	田	378	364	-14	畑	182	163	-19	計	560	527	-33	○経営体数		H19	H24	増減			(世帯)			農業経営体		420	383	-37	○年齢別農業就業人口		H19	H24	増減			(人)			30歳未満		41	4	-37	30～60歳		120	63	-57	60歳以上		552	308	-244
○耕地面積		H19	H24	増減																																																															
		(ha)																																																																	
耕地面積	田	378	364	-14																																																															
	畑	182	163	-19																																																															
	計	560	527	-33																																																															
○経営体数		H19	H24	増減																																																															
		(世帯)																																																																	
農業経営体		420	383	-37																																																															
○年齢別農業就業人口		H19	H24	増減																																																															
		(人)																																																																	
30歳未満		41	4	-37																																																															
30～60歳		120	63	-57																																																															
60歳以上		552	308	-244																																																															

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
堆肥センター事業	13	<p>今後も継続する方針のようですが、一部地区市民のみへの協力・負担をどう解消するか、の策がありません。</p> <p>対象世帯を全市に拡大し、直接持ち込みを検討するようですが、日常的に発生する生ごみを堆肥センターに持ち込むことは現実的とは思えません。持ち込んでもらい税金をかけて堆肥を作る？費用対効果はどうなんでしょうか？</p> <p>現在の回収方法＋事業系生ごみを拡大し、どの程度のコスト削減につながるのか示してください。</p> <p>継続しか考えられないのであれば、事業系を中心に事業展開された方がよいと思います。</p>	5	<p>13 本事業はごみ減量と循環型社会の形成に役立っていることについて、広く市民の方のご理解とご賛同をいただくことが重要であると考えています。</p> <p>現状のシステムでは市内全域に分別収集地区を拡大することは課題があるため、分別収集地区外にお住まいの方については、本事業の趣旨に賛同いただける方には、堆肥センターへの生ごみの直接持ち込みを可能とする体制を整えようというものです。直接持ち込みを実施した場合には、費用として副資材の費用が増えますが、生ごみの回収量が増え、堆肥の生産量が増えた分、堆肥の売却収入が増加となります。</p> <p>堆肥センターはもともと家庭系ごみの減量を目的とした施設であり、事業系生ごみの受け入れについては、調査検討を行うべき事項が多くあります。市内の事業系生ごみの現状把握から生ごみの性質、受け入れ体制、受け入れ価格などです。</p> <p>受け入れ量と受け入れ価格が現段階では未確定のため、明確なコスト削減額をお示しすることができませんが、コスト削減に繋がるように実施を検討してまいります。</p>
	14	<p>この事業は経費採算の良否によって今後を判定すべきではないと考えます。生ごみは食事を作る時に出る屑と食べ残しによる残飯です。生ごみの多さから自分の家で必要以上の食材を無駄にしていると気付いて食材の大切さを市民に考えていただきたい。</p> <p>特に知的弱者の仕事として定着し始めてきたと聞いております。市民全体の力で支えていけたらよいと考えます。</p>		<p>14 本事業の意義をご理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>本事業は市民一人ひとりの方のご理解とご協力が欠かせないものとなっております。生ごみを分別していただくことで、ごみに関する意識啓発にも繋がっております。また、障害者の方の雇用の場となっている点についても本事業の効果といえます。</p> <p>今後も本事業の意義を市民の方に広くご理解いただけるように努めてまいります。</p>
	15	<p>生ごみの袋は非常に破れやすい。燃えるゴミの日に生ごみの回収状況を見ているとほとんど出していない。何か対策が必要ではないか。</p>		<p>15 生ごみ専用袋は、生分解性のプラスチック製となっており、堆肥化の過程で、水と二酸化炭素に分解されます。そのため、一般的なビニール袋にはない使用有効期限を設けていることをご理解いただければと思います。</p> <p>また、袋が破れるのを防ぐ方法として、生ごみの大半は水分ですので、生ごみの水分を十分に切っていただくことをご案内しています。</p> <p>分別区域内の協力率を上げていくことは、本事業を継続していくために重要な課題であります。改めて、区や町内会への協力依頼と併せて広報や回覧、ホームページで本事業の紹介を行ってまいります。</p>

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
堆肥センター事業	16	<p>市民の税金を使用して、堆肥センター事業のような案は納得出来かねます。</p> <p>赤字事業は1円でも支出を減らす努力をすべきで、品薄にもかかわらず堆肥の売価すら手につけていないのは、一般企業からするとありえないです。役所の方々は危機感が足りていないのではないのでしょうか。</p> <p>ブランド化を目指すのであれば、付加価値を上げる(売価を上げる)ことに発想が繋がると思います。</p> <p>あるべき姿・目標を掲げ、その目標を達成させるためにどんな方策を立てるのが問われているのではないのでしょうか。そのあるべき姿・目標に向けて各年度ごとの目標が立てられるはずで、各年度毎の目標には現在とのギャップが生じます。そのギャップをいかに埋められるかが各年度の活動内容になります。</p> <p>そう考えると前にも述べましたように、売価の事を考慮するはずですし、“受け入れ検討”というように“受け入れてやる”みたいにとられる様な上から目線の語彙は出てこないと思います。市役所の皆さんは本当に真剣に取り組んでください。真剣に取り組んでいただいていると信じていますが、それが伝わってこないです。</p>		<p>ご意見のとおり、事業に係る経費は少しでも減らす努力は常に必要であると捉えており、これまでも収集委託の見直しなど費用の削減努力は行っております。</p> <p>引き続き、経費削減の努力は行ってまいります。ごみを燃やすだけでなく次世代に向けた持続可能な社会の構築も行政の重要な役割であることもご理解いただければ幸いです。</p> <p>堆肥の価格については、収支の改善のためには必要な検討事項であります。</p> <p>有機循環という本事業の趣旨を維持し、堆肥の需要から売れ残りのないように価格は慎重に決定する必要があると考えています。</p>

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
堆肥センター事業	17	<p>3千数百万円の経費をかけて収益はほとんどないというものははや事業ではない。判定結果は市実施見直しである。議論の要点も検討も目新しいものはない。とっくにやっておくべきことばかりで、今までやっていないことこそ恐るべき怠慢である。</p> <p>障害者雇用を挙げる向きもあるが、3千万円の経費を考えればもっと有効な仕事も考えられるのではないか。メイツと共同で新たな障害者対策を進めてはどうか。</p> <p>1日3トンの処理能力があるそうだが、現状1.2トンの受け入れで1.5トンが限界だそうだ。はたしてそうなのか。とても産業とは言い難い活動ライン設定である。一度専門家に見てもらい組み直す必要があるのではないか。</p> <p>堆肥の需要はあるのか。ブランド化の具体策はあるのか。産業振興課は真剣に考えているのか。</p> <p>とにかく半端な赤字ではない。見直し方針が27年度まで設定されているなどとてもないことだ。もっと視野を広げた大胆な抜本的対策を考えるべき。</p>		<p>ご意見のとおり、本事業の直接的な収入は堆肥の売却金のみで、本事業に係る経費の1割にも満たない収入となっております。有機循環推進事業は、ごみの減量と循環型社会の形成の目的達成のための一手法であり、確かにごみ減量と循環型社会の形成には役割を果たしております。事業に係る経費については、議論の要点に記載させていただいた内容を実施していくことで事業の効率化を図り、収支の改善に努めてまいります。また、障害者雇用については、本事業の効果の一つであると考えています。</p> <p>堆肥センターの施設の設計上の処理能力は1日3トンであり、現行の体制で安定的に堆肥を生産できる量として、現処理量の1.5倍程度(約2.3トン)を見込んでおります。</p> <p>堆肥の需要は現段階では売れ残りはないため、今後も堅調に推移していくものと見込んでおります。また、堆肥そのものの価値・魅力のみならず、有機循環という本事業の趣旨をPRしていくことで、堆肥の差別化、ブランド化に繋げてまいります。</p> <p>(回答:環境課)</p>

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
道路等維持 作業業務委託 事業	18	市民参加、経費削減の観点で、もっと市民を上手に使うって草取り、清掃を実施し、お金のかからない安全な道路を作り上げていってください。	1	ご意見ありがとうございます。 市民の皆様のご理解とご協力のもと、安全な道路整備を効率的に推進できるよう、より一層努めて参ります。 (回答:土木課)

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<平成25年度事業仕分けの結果に対する市の方針(案)>

仕分け事業名	No.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
ご意見等	19	ニーズ調査が不足していると思います。ニーズ調査の結果を踏まえたうえでの行政であるべきではないでしょうか。市民を呼びつけての議論ではなく、行政の人が市民の中へ耳を傾げるために飛び込んでください。	2	<p>事業仕分け全般でニーズ調査不足との指摘がございました。新規事業、継続事業にかかわらず、常に市民ニーズを踏まえた事業の推進、見直しができるよう調査方法等についても検討し実施してまいります。</p> <p>また、事業仕分けでは報告会、パブリックコメントにおいて皆様から貴重なご意見をいただくことができました。来年度以降におきましても、総合計画策定や公共施設の適正配置など検討すべき重要な事項がございます。計画策定等に当たって、ご意見をいただく機会も事業仕分け以上に設けてまいりますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>見直し、改善につきましては、子育て支援事業のほか、市役所出張所、休日診療所などできるところから順次取り組んでいきます。</p> <p>見直し方針につきましては、大きな制度改正に合わせて進めるものや公共施設の再配置等全体計画と関連する事業もあるため予算増減額が未定となっているものがございます。事業仕分けの対象となった事業は、行政改革アクションプランの中で進行管理をしていきますのでその中で予算の増減額など目標管理を継続していきます。</p> <p>また、事業によっては事業費が増額するものもありますが、ニーズの把握や中長期計画の策定等によるもので、事業の最適化につなげます。単なる拡大ではないことにご理解ください。</p> <p>(回答:企画政策課)</p>
	20	見直し・改善が遅い。本年度中にアンケート等に取り組むのは子育て支援系の事業のみ。見直しが平成27年度以降が多く、事業仕分けを7月に実施した意味がない。不要民営化、抜本的見直しはどうなった。全体の印象として事業拡大が目につく。市民判定を軽視していると思えない。予算の増減予定額が未定ばかりで問題。予算額がないということは、目標がないのと同じではないか。また、予算が増額すると思われる方針案も見受けられ、事業仕分けの意味が薄い。		